

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
大分東RCスローガン

「温故知新 新しい時代のロータリーを考えよう」



テニスの全英オープンが開催されるウィンブルドンセンターコート

2021-2022 第17回 例会 2022.1.20 No.2732

ガバナー 大森 克磨
会長 瀬口 清文
幹事 前田 修二

本日のプログラム（1月20日）

◎12:30

1. 開会並びに点鐘
2. ロータリーソング斉唱「我等の生業」
会食
3. ゲスト・ビジターの紹介 瀬口 清文 会長
4. 会長の時間 瀬口 清文 会長
5. 幹事報告 前田 修二 幹事
6. 出席報告 野田 直宏 出席委員長
7. 委員会報告
8. ニコボックス
9. 今週のお祝い

<パートナー誕生日>

三島 麻衣会員 康典様 1月24日

<会員誕生日>

川崎 栄一会員 1月25日

◎13:00

10. 例会企画
田村 将治様（㈱ジョイントビスおおいた 代表取締役）
「ラーメンを通じて地域貢献」

第16回（1月6日）例会記録

新春合同例会

・出席報告

会員 総数 36名 (免除 会員 8名)	1月6日（前回）				12月16日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	29名	93.50%	1名	0名	96.7%

次週の例会（第18回1月27日）

会員卓話

会長の時間（令和4年1月6日）

大分第4グループのロータリアンの皆様、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの流行が発端となり、ロータリーの活動にも大きな制約を受けることとなりました。その影響で新春合同例会が開催されませんでした。本年は、デルタ株が終息しつつある段階ですが、その後オミクロン株での第6波が徐々にその勢いを増す中、異例ではありますがZOOM併用での新春合同例会を開催する事が出来ましたことは、皆様のご理解・ご協力があつたからこそだと思っております。

新しい年を迎えましたが、新型コロナの終息が見えない

大分南RC会長 三宮 康司

中、経済活動にも大きな打撃となり 社会生活に影響が及んでいます。地域社会における新たな課題が次々と浮かんでくることを心配していますが、ワクチン接種が進み、わずかながら明るい兆しもあります。2022年度は、壬寅（みずのえとら）です。「壬寅」は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新たな成長の礎となるという年であります。ロータリアン皆さんで、是非、新たな芽吹きと成長をしっかりと感じられる年にしましょう。

この新しい年がよき年となりますよう祈念して、年頭の会長挨拶とさせていただきます。皆さん、本年もよろしく願います。

【次年度ガバナー補佐挨拶】

大分中央RC 藤田 千克由

いつもお世話になっております。

2022年-2023年堀川ガバナーエレクトのもと、第4グループのガバナー補佐を務めさせていただき大分中央ロータリークラブの藤田千克由と申します。ロータリー歴は11年で職業分類はタクシー業です。また日頃より大分中央ロータリークラブに対しまして、ご支援をいただきまして、ありがとうございます。

この度、ガバナー補佐を受けるにあたり、私自身は地区への関わりが非常に薄く、岡村バスターガバナーの地区幹事を務めさせていただいて以来の地区への関わりとなりますので、第4グループの皆様方には何かとご迷惑をお掛けすると思っておりますがよろしく願います。

さて堀川ガバナーエレクトの方針について、これま

でと違うのは該当年度以前に「グループ別会長エレクト懇談会」の実施です。これを行うことにより、より早い段階で各クラブの状況を把握できる点と何よりもクラブの特徴と会長エレクトを知ると言う事が重要なポイントになって参ります。本懇談会開催につきましては第4グループは2022年2月末までに開催したいと考えてますので日程調整のご協力をお願いします。また第4グループのガバナー公式訪問例会につきましては2023年2月で決定しましたのでよろしくお願い致します。

当然の事ながら、これまでのIMやクラブ訪問等につきましても進めて参りますのでご支援賜りますようお願い申し上げます。

【次年度会長挨拶】

大分中央RC 会長エレクト 青柳 義信

新年あけましておめでとうございます。

この度、来年度の大分第4グループの当番クラブを仰せつかりました大分中央ロータリークラブ、次年度会長の青柳義信と申します。ロータリー歴は14年で職業分類は通信業です。

ご存知の通り、新型コロナウイルスによるパンデミックが発生し、昨年も混乱の中に過ごした方も多と思います。また、皆様の所属クラブ運営におかれましても、何かとスムーズにはいかず、大変な1年であったとも思います。

そんな中、本年度の当番クラブであります大分南ロータリークラブの三宮会長をはじめ、会員の皆様に

おかれましては、当番クラブの行事を企画運営することに大変なご苦勞をおかけしたこととご察し申し上げます。あと残り半期につきましても宜しく願い申し上げます。

さて、ご紹介いただきました来年度の当番クラブの担当をさせて頂くにあたり、皆様に何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが、精いっぱい努力させて頂く所存でございますので、何卒、皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が、皆様にとって素晴らしい年となることを祈念して、そして、皆さまの健康を祈願し新年のご挨拶とさせていただきます。

幹事報告

1. 2021-22年度 IM開催について

2022年3月26日（土）の開催予定で準備を進めております。

コロナ感染拡大の状況下、開催についての詳細につきましては目下検討中でもございますので、ご案内につきましては暫くお待ちいただけたらと思っておりますが、皆様のスケジュールの把握のみお願いいたします。

ニコニコボックス

岩崎哲朗会員 佐藤佳郁会員が今年の年男です。

恒例によりニコボックス1口ずつ宜しく願いたします。

次年度 ガバナー補佐・会長・幹事 紹介 (2022～23年度)

クラブ名	大分第四グループ	
大 分 中 央	ガバナー補佐	藤田千克由

クラブ名	会 長	幹 事
大 分	杉原 正晴	山本 舜治
大 分 臨 海	南 徳行	横山 茂男
大 分 南	古本 太	三股 正幸
大 分 中 央	青柳 義信	中村 哲弥
大 分 1 9 8 5	高橋 道成	門脇 啓二
大 分 城 西	村上 智貴	伊藤 秀海
大 分 キ ャ ピ タ ル	森永 隆二	寺尾 睦治
2720JapanO.K.REC	中川 宝星	植山 朋代

特 報 版

- 1月のプログラム 1月20日（木） ゲスト卓話 田村 将治 様
1月27日（木） 会員卓話
- 2月のプログラム 2月 3日（木） 休会
2月10日（木） ゲスト卓話
2月17日（木） 夜の例会
2月24日（木） 休会



チャレンジと応援の連鎖がまちを変える ～油津商店街・那珂川市でいま起きていること～

(株)ホーホウ 代表取締役 木藤 亮太 様

【講演内容】

宮崎県日南市油津商店街の再生事業（2013年～）、福岡県那珂川市の取り組み（2017年～）の話題を中心に、地方創生、まちづくり、活性化に関連するお話をします。私の体験に基づいて、それぞれのプロジェクトのなかで、どうやって価値観を理解し、変え、伸ばすことにチャレンジしていったのか、仕事に対するスタンス、そのために若い人材がいまなにすべきなのか、について考える機会になればと思います。

【プロフィール】

1975年福岡出身。宮崎県日南市が実施した全国公募で選ばれ、2013年7月よりテナントミックスサポートマネージャーに着任。“猫さえ歩かない”と言われた油津商店街の再生事業に取組み、約4年で25を超える新規出店、企業誘致等を実現。商店街再生の好事例として国や各地から大きな評価を得ている。その後は自らが育った福岡県那珂川市に拠点を移し「事業間連携専門官」に着任（2017年4月より）。株式会社ホーホウを設立（2018年1月より）しJR博多南駅前ビル「ナカイチ」を地域コミュニティを育む場として再生、2020年3月には全国誌「ソトコト」の表紙を飾った。2019年8月には39年の幕を閉じた老舗喫茶店を承継するプロジェクトを立ち上げ、株式会社バトンタッチ（2019年7月より）を設立。那珂川市に「喫茶キャプテン」を継承し、話題となっている。

【概要】

2013年に始まった油津商店街再生のテーマは「自走できる商店街づくり」。商店街が持続的に歩んでいける状況をつくること。「店舗誘致」というKPIはもちろん、その土台をしっかりとつくりあげることを重視。

そんな中、多くの市民の記憶に残る喫茶店に着目。自らが事業者となり、カフェ「ABURATSUCOFFEE」としてリノベーション。多世代で賑わう、集いの場となった。こういった動きは市民の共感を集め、商店街再生が本格的に動き出すきっかけとなった。呉服屋さんを改修した豆腐屋、空き地にコンテナのお店を6棟並べた「アブラツガーデン」、スーパーマーケット

跡の建物を改修した「屋台村（あぶらつ食堂）や交流スペース（油津Yotten）」がオープン。出店はほとんどが30代の地元出身者、若い世代の商業者が、商店街に加わっていく。

こういった動きと並行して、市民有志が集まり、商店街の自走のための民間法人「株式会社油津応援団」を結成。「行政からの支援に頼り続けず、民間の発想にシフトしていくこと」を重視した会社の設立は、行政事業が終わった後も、民間として収益を生み、持続的に商店街をマネジメントしていく体制へと進化。

このようなまちの変化が市民の意識を変え、様々な活動につながっていく。寂れたまち並みをオシャレに見せようと撮影された写真集「CAPPE」。商店街をPRする小学生アイドルグループが誕生。高校生がアートイベントをしかけ、大学生がゲストハウスを経営するなど、若者のチャレンジが、市民の意識に様々な反応を生み続けていることが、この事業の最大の価値となっている。

その後、日南市が行ってきた雇用創出事業の動きが本格化。東京に本社を持つIT企業のサテライトオフィスが商店街の空き店舗を活用し誕生。現在までに13社となり、120名を超える雇用を生み、若い世代が働く場が商店街に生まれた。彼らがランチタイムに食事をしたりパンを買いに行ったりする姿から、これまで20～30年間右肩下がりがだったこのまちに、消費人口が増えつつあることを実感。

油津での約4年間の事業を通して見えてきたもの、それは「昔良かったころ」に戻るのではなく、今を起点として、新しく求められるまちをつくっていくこと。油津商店街は、人口が減り少子高齢化が進み地方都市の中で、若者が先頭を切ってチャレンジする場として生まれ変わった。事業が開始して8年たった今、どのような状況にあるのか、また油津から地元福岡県那珂川市に戻りどんな取り組みをしているのか、最新の動きについてお伝えしたい。

ロータリーソング

我等の生業

我等の^{なりわい}生業 ^{なりわい}さまざまなれど

集いて囃る心は一つ

求むるところは ^{やわらぎむつみ}平和親睦

力むるところは 向上奉仕

おお ロータリアン我等の集い

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創 立 昭和38年3月6日

例 会 日 毎週木曜日・12時30分

例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」

会 長 瀬口 清文

幹 事 前田 修二

事 務 所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15

(トキハ会館4F)

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>

メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp